

6年 わたしの地図活用

都道府県「辞典文」づくり  
—「都道府県スリーヒントクイズ」を活用して—

山形県 天童市立成生小学校 教頭 青柳 滋

1 はじめに

都道府県の名称と位置の習得が小学校学習指導要領で明確に示された。この学習はおもに、第4学年に位置づけられている。各地方の暮らしと関連づけて学習する。しかし、第6学年となり卒業を前に、「社会科のまとめ」の教材を実施すると、ほとんど記憶されていない場合はないだろうか。第5学年、第6学年と学習内容に関連づけて教科書等に掲載されるおもな市町村名を地図帳で確認はするが、やはり、子どもたちは忘れていたのである。

そこで、第6学年の学習がすべて終了した時点で、「社会科の地理的内容を復習しよう」という単元を設定し、地理的内容をきちんと定着させて中学校へ送り出すことを提案したい。

2 本時の位置づけ

帝国書院のホームページには、「都道府県スリーヒントクイズ」（初級編・上級編）がパワーポイント形式で掲載されている\*。上級編は歴史的な内容がヒントにあり、第6学年の学習を終えないとわからない。ヒントの内容がすぐれており、各都道府県の特徴を明確に、しかもコンパクトに理解できる。

右に示すような指導案で地理的な内容を復習した。都道府県についてはただ単にプリントで復習するだけでなく、特色や位置を再確認させたいと考えた。そこで、国語辞典の文をつくる活動を設定し、都道府県の「辞典文」づくりをして意欲的に想起させることにした。

\* 「都道府県スリーヒントクイズ」URL <http://www.teikokushoin.co.jp/howto/index19.html> (帝国書院ホームページ)

第6学年 社会科学習指導案

1. 単元名 社会科の地理的内容を復習しよう
2. 目標 小学校で学習した地理的内容の定着
3. 指導計画 (8時間)
  - ・都道府県名と位置、県庁所在地などをふり返ろう (1時間)
  - ・都道府県の特徴を簡単な文に表し、辞典文をつくろう (1時間)
  - ・地球儀をグループで調べ、疑問や気づきを出し合おう (1時間)
  - ・地球儀と地図の違いを調べ、それぞれのよさを考えよう (1時間)
  - ・日本と世界のおもな地理の復習をしよう (4時間)
4. 本時の指導 (8時間のうちの2時間目)

①ねらい：都道府県の名称と位置、県庁所在地や特色を、辞典の文づくりを通して再確認する。

②学習活動

おもな学習活動	○教師の活動 ・児童の活動	留意点
歴史ミニテスト	○テスト配布 ・解答する ○答えあわせ	5問のミニテスト
都道府県スリーヒントクイズ	○5年生の内容の復習であることを確認する	デジタル教材(帝国書院)を活用する
都道府県の辞典文のモデルを見る	○「山形県を国語辞典で引くと、次のように書いてあります」	
全員で同じ県の辞典文をつくる	・宮城県を全員で考える ○「では辞典にはどう書いてあるか。これを見てください」	ペアでつくる 黒板に書く
選択した都道府県の辞典文をつくり、実際の辞典と比較する	・各自で辞典文をつくる ・できたら発表する	

### 3 「都道府県スリーヒントクイズ」をもとに「辞典文」づくりをする

本時では5分間「歴史ミニテスト」をしたあと、「都道府県スリーヒントクイズ」を提示した。元のデータでは北海道から順番になっているため、「北海道⇒青森県⇒鹿児島県⇒宮城県⇒石川県⇒群馬県…」などとアトラランダムに出題されるようにアレンジした。

難しい（子どもがあまり知らない）ものからやさしいものへ、ヒントが順序よく提示されるしくみにすることで、クリックするごとに子どもに問うことができる。三つのヒントのあとに、都道府県の形がズームアップで表示される。ここで、第6学年の子どもならたいていが正解となる。子どもは、画面の動きやヒントのおもしろさから、集中してスリーヒントクイズに取り組むことができた。

次に、国語辞典を準備させる。ある子どもに、山形県を引くとなんと書いてあるか答えてもらう。「山形県：東北地方の南西部にあり日本海に面する県。庄内平野の稲作、山形盆地のさくらんぼや米沢市の絹織物などの産物が有名。県庁は山形市にある。」

この「〇〇地方の〇〇にあり、〇〇が有名。〇庁は〇〇市にある。」という文型をもとに、ほかの県の「辞典文」を作成することを伝え、まずは宮城県を全員でつくってみた。ある子は、次のようにつくった。「宮城県：東北地方の南東部にあり、太平洋に面している。七夕祭りが有名。県庁は仙台市にある。」

隣の県であるため有名なことをよく知っており、「〇〇が有名」の部分を簡単につくることができた。国語辞典で宮城県を改めて引いてみると、案外簡単に書かれていることに子どもたちは驚き、自分たちが作成した「辞典文」のほうが詳しいことに満足していた。

次に、グループごとに、九州地方、四国地方、中国地方などに分かれて、1人1都道府県を担当して「辞典文」を作成させた。

地図帳を使って「〇〇地方の〇〇部」、「〇庁は〇〇市にある。」を簡単に書くことができた。「〇〇が有名」の部分を、地図帳に描かれている特産物の絵記号を参照して作成している子どもがいた。また、「都道府県スリーヒントクイズ」のスリーヒントの部分印刷したものを配布し、参考資料とした。

高知県を担当した子どもは、下のヒントをもとに以下のような「辞典文」を作成した。

**ヒント**

- ①「ゆず」の生産量が日本一
- ②「ごめん(後免)」という駅がある
- ③明治維新の立役者「坂本龍馬」の出身地



ゆず



ごめん(後免)



坂本龍馬

「高知県：四国地方の南西部にあり県庁は高知市にあり、太平洋に面している。『ゆず』の生産量が日本一。坂本龍馬の出身地でもある。」

### 4 おわりに

よく中学校の社会科の先生方に、都道府県の名称と位置くらいは覚えていてほしいという要望を聞く。卒業を前に、地理的な内容を復習する時間を少しでも設定することが有効である。その際、ただやみくもに復習させるのではなく、楽しく取り組ませたい。

その目的を達成するためには、「都道府県スリーヒントクイズ」はひじょうに有効である。活用の例として、示してみたところである。